

一般財団法人 研究学園都市コミュニティケーブルサービス
第41回 放送番組審議会

- 1 日 時 令和3年3月12日(金) (書面開催)
- 2 委 員 中山伸一 (会長)、石塚敏之、勝村英樹、小森達夫、
(敬称略) 生田目美紀、馬場清康、鷺田美加
- 3 審議案件
 - (1) ACCSコミュニティチャンネル放送について (第1号)
 - (2) 多チャンネル放送番組等について (第2号)
 - (3) DVD収録番組への御意見等

○放送番組審議会を開催する代わりに、書面にて御意見、御要望等を各委員から頂戴した。
頂いた御意見、御要望等は別紙の通りである。御質問に対しては、回答を添えた。

別紙

(1) ACCSコミュニティチャンネル放送について（第1号）

中山会長

コロナ禍の状況の中、番組制作ご苦労様でした。

コロナ禍ですので、なかなかインタビュー等を含む番組は作りにくく、番組制作にご苦労されているかと思います。ただ、オンラインでできるような場合もありますし、街中の風景はとれるかと思いますが、できるだけ今のつくばの状況を残す努力をしていただければと思います。また、DVDでマスクをつけて話をしているのは口元が見えないので、工夫が必要かと思いました。

石塚委員

ACCSは、ケーブルテレビとしてつくばという地域特性を生かした番組の編成、放映を通して期待に応えることが求められている。

現在新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の暮らしは大きな制約を受けている。学校や職場をはじめとした多くの場面でリモートによる対応が余儀なくされ、ステイホームに代表される在宅時間の増加が顕著になっている。また、人口流入は継続し、地域に対する注目度も高まっている。

こうした環境下で地域メディアの強味を発揮できるのが、コミュニティチャンネルでありまた多くの注目を集めるチャンスともいえる。

提示された資料（放送番組の編集に関する基本計画、番組基準）によれば、ACCSの目指す方向性や取り組みは適切かつ妥当なものであり、経営資源の振り向け方として一定の制約はあったとしても、一層自主製作番組の充実を期待している。そのためには番組構成や取材、編集などスタッフへの期待も負担も一層大きくなるが頑張ってください。

勝村委員

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の自粛も多く番組制作に大変苦労したことと思いますが、新たな新番組を制作するなど対応されているところがすばらしい。また、コロナ関連の情報提供やコロナ禍で奮闘する事業者への取材の特集も良かったです。

小森委員

自主制作番組も充実しており、地域の方々に必要とされる取り組みをされていると感じます。

生田目委員

自主制作の新番組「あの頃の今、そして今」「つくばパン散歩」は企画の切り口とコンセプトがとても良く、地域の人にとって試聴して楽しく役に立つ内容になっていると感じました。

新型コロナウイルス関連の番組、開票速報、県政情報などは、地域の人にとってなくてはならない情報であり、コミュニティチャンネルとしての位置付けは非常に重要だと思います。音声だけ、文字だけで情報を入手する人でも十分に情報が得られるように引き続きご配慮をお願いします。

放送番組種目がバランスよく構成されている。

地域の魅力の掘り起こしには市民の力が欠かせません。ぜひ、市民の皆様と協働・連携して良い番組を作ってください。

生放送が配信できるスタジオが整備されるとのこと、おめでとうございます。スタジオの規模がわかりませんが、生配信できる貸しスタジオとして機能するのであれば、オンライン情報発信の今、需要があるのではないかと思います。

馬場委員

「あの頃の今、そして今」について

2010年6月の地質標本館の地震の話と2020年7月の地質標本館のチバニアンの紹介、両方とも事前予約が必要ということだったが、10年後の「今」の理由は「新型コロナ対応のため」というのが時代を反映していて面白かった。

テーマに沿うコンテンツ探しはなかなか大変だとは思いますが、ぜひ続けていって欲しい新企画です。このエリアにおけるACC Sの強みの部分だと思います。

「市長が語る」について

3月11日の東日本大震災10年目の日の「市長が語る」が2月16日録画のままの放送内容でした。放送各社が大震災10年目の特番を組み、どのチャンネルに回しても当時の生々しい映像やその後の復活状況が放映されている中、ACC Sでは市長さんが筑波山のジオパークの再認定の話をしていました。

茨城県内にも大きな被害をもたらした東日本大震災10年目の記念日に、ジオパーク再認定の話をしている市長さんの姿に、ACC Sの番組事情を他の市民よりはよく知っているはずの私でも若干の違和感を覚えました。

つくば市でも大勢の福島からの避難民の方を受け入れるなどした特別な日の「市長が語る」は、市長さんのためにも、その日だけに放送する時宜にかなった内容の特別版を前もって用意しておき、差し替えるべきではないでしょうか。

(2) 多チャンネル放送番組等について (第2号)

中山会長

色々な競合するものがありますので、提供番組の編成は難しいかと思います。利用者に対するアンケート調査も、これまで回収率が悪く、あまり利用できていなかったかと思います。視聴状況を調べるようなことはできないのでしょうかね。また、河川・道路情報の提供というのは、特色があって良いかと思います。

石塚委員

D Xに代表される情報化の進展に伴い、SNSなど情報媒体の多様化はA C C Sの立ち位置や役割においても対応が迫られていると感じている。加入者の趣向、サービスエリア内の潜在的なユーザーを取り組むために、さらなる魅力を求める取組を継続していただきたい。

勝村委員

今後も引き続き人気番組を増やし、加入者増を目指していただきたいと思います。

小森委員

視聴者の方に、期待に応える多様なコンテンツを届ける方法として有効に活用されていると思います。

生田目委員

契約者の増加と受信可能な番組とは密接な関係があると思います。ぜひ、ニーズにあった番組を選定してください。ネットTVにはない魅力を創造し、そのことをアピールするような広報物を作り、契約者獲得につなげて欲しいと思います。来年度の取り組みで記載されていた「河川・道路情報の提供」はとても良いと思いました。地域の災害情報をいち早く地域の皆様にお届けすることは、コミュニティケーブルサービスの務めだと思います。よろしくお願い申し上げます。

(3) DVD収録番組への御意見等

中山会長

リハビリ体操は、在宅の人々の健康を保持する意味で良い取り組みだと思いました。NHK等でも行っておりましたが、ACC Sの放送の頻度はどの程度だったのでしょうか？

地域放送ですので、その頻度はかなり高くても良かったかと思えますし、今後も引き続き高い頻度で放送しても良いかと思えます。

つくばパン散歩は、詳しい説明もあって、よくできていたと思います。ただ、間にあった説明は最初にあった方が分かりやすかったかも知れませんね。情報提供の流れを考えて番組の構成を行って下さい。

月刊チラシズムは、映画の解説でしたが、この番組は冬木さんの語りで持たせている部分が大きいかと思います。冬木さんの他の話でも良いですし、また、場合によっては自分の趣味を話したいと言う方に語らせると言う視聴者参加を考えても良いかも知れませんね。

まつりつくば名場面集は、ACC Sのアーカイブズが役立つものだったと思います。巣ごもり等で家にいる人にとっては、昔の思い出というのは需要があるかと思えます。

ACC Sアーカイブ等の放送はこの時期だからこそ、もう少し宣伝して良いかも知れませんね。

【回答】シルバーリハビリ体操の放送頻度について

「シルバーリハビリ体操」（14種類）は昨年3月、制作元の茨城県立健康プラザから放送依頼があり、4月から「ウィークリーACC S」（1日5回）の枠で放送を開始しました。10月からは5分枠で1日2回、放送しています。

石塚委員

・「ウィークリーACC S」の「知事の記者会見に代表される県域の話題」では、普段あまり意識しない生活圏としての茨城県の動向を把握する上で、貴重な情報提供だと感じた。

・「つくばパン散歩」では、パンの好きな私にとっては、街中のショップ動向や商品構成はコロナ禍の抑止力は働くものの興味深い話題と感じた。来店経験のある店でも知りえなかった情報があり、初めて知った情報は来店をそそる映像になっていた。

・「月刊チラシズム」の「冬木周一の映画探偵」では、週末に自宅でコーヒーを飲みながら懐かしさや欠落した記憶を呼び起こすひと時を作り出し、実際映像を見たくなるものだった。

・つくば市長選では、まず現場で見る機会のない者にとっては興味深いシーンであった。

・「つくば警察からのお知らせ」では、盗難の発生場所や車種などの状況から防衛策の二重化まで有益な情報であった。

総括するとACC Sの持ち味、強味は①情報量として文字媒体では表現できない表現力

がある。②映像ならではの伝達力、説得力、臨場感が伝わってくる。③地域メディアとして身近な話題（他では代替できない話題）を扱うことで特徴が生かされている（まずはACC S）。④情報における信頼性が高い（何か起きたらACC S）。

このように、視聴者の観点からは独自の存在感を感じ取ることができることから今後の番組編成においても大いに強みを生かし、期待に応え、番組間の関係性を作り出し相乗効果を発揮していただきたい。

勝村委員

・新番組のつくばパン散歩は、「パンの街つくば」のPR等につながりとても良い企画だと思います。

・まつりつくば名場面集は、今年度の中止により市民の方々も非常に残念な思いをしていたところ、この番組により過去から現代へのまつりの移り変わりを知れ、懐かしさや臨場感を味わえ、とても良い企画であったと思います。みなさん来年の開催を心待ちにしていることでしょう。

小森委員

新型コロナや選挙報道、身近な生活情報やイベント紹介、自治体等からのお知らせなど、多彩な内容で充実した発信をされていることがしっかり認識できました。演出も内容に合わせて考えられ、市民の方々に親しまれる放送になっていると思います。

生田目委員

どの番組も楽しく拝見しました。

特に「つくばパン散歩」はイラストも可愛らしく、画面構成が綺麗で楽しい仕上がりになっていると感動しました。食べ物の撮影は難しいと思いますが美味しそうに撮影されており、カメラ技術の高さを感じました。撮影技術の向上には終わりはありませんので、ますます素晴らしい映像が得られるように頑張ってください。

「まつりつくば」の番組も感動しました。強いて何かコメントするのであれば、冒頭23秒のシナリオ展開がいささかいきなりな感じがしました。また、古い記録画像とMC場面の切り替わりに何かトランジションの工夫があるとより自然な感じで視聴できると思いました。

馬場委員

「まつりつくばの名場面集」について

まつりの時代による変遷やいろいろなエピソードが面白かった。

コロナでまつりが中止になり中継できなかったことの代替措置なのでしょうが、かえって印象的なアーカイブになっていました。ACC Sの面目躍如たるものがあったと思います。

「つくば警察署からのお知らせ」について

緊張のためか警察官の方のやりとりが硬く、お知らせ内容がよく伝わってきませんでした。ただ立ってしゃべるだけでなく、ボードを使ったり、アナウンサーとのやりとりを面白くしたり、視聴者によりわかりやすく訴える工夫が必要ではないかと感じました。DVDでは紹介されていませんでしたが、茨城県警察官募集のパラパラ漫画がACCSSで放映されているのを見ました。こちらは絵も漫画の内容も大変素晴らしいものでした。多分、鉄拳作だと思いますがどういう経緯で放送したのか聞きたかったです。

【回答】茨城県警察採用広報用パラパラ漫画ムービーの放送について

定期的に放送している「つくば警察署からのお知らせ」の関連で放送依頼があったものです。この動画は県警がリクルート活動の一環で制作、県警本部のホームページのほか、主に県内の大学や高校で開いている説明会の場で放送しているものだと思います。